



かみふらの

2015

6

NO.673

こうほう



想いはいつも ここにある

特集 この大地に生きる

主な内容 小学校・中学校
参観日の授業を公開します
ご存じですか？
障がい児・障がい者の手当

元気に育て、おいしい実をたくさんつけてね！
～ 莖をやりわり固定するミニトマトの誘引作業～
里仁地区の西釜農園にて広報担当撮影



想いはいつも ここにある

特集 この大地に生きる

残雪をいただいた十勝岳連峰をバックに、曲線を描きなだらかに続く丘。そこに広がる青々としたスイートコーン畑、小さくきれいな花が一面を埋め尽くすジャガイモ畑、夏真っ盛りの青空の下で黄金色に染まる小麦畑。そして、こつべを垂れて秋色に輝く水田。これらの美しい農村風景は、私たちの住む「かみふらの」の代名詞ともいえる大きな財産です。

豊かなこの大地に生きる農業者。しかし、日本の農業を取り巻く状況は決して楽観できるものではありません。そんな中、ここ上富良野で新たな取り組みを始めた農業者がいます。

生産者目らが農産物を販売する「軽トラ市」、自分が生産したものを自ら加工して製品化する「6次産業化」に挑む3人の農業者、農業者の立場から「食」についての活動を立ち上げる富良野地方の女性農業後継者グループ「ふら農嬢(ふらののこ)」。

今月は、彼らの取り組みとその想いについて特集してお伝えします。



上段左から田中和正さん、高橋友美さん、岩田浩志さん、細川登美子さん、西木晴彦さん、中段左から田中光浩さん、安丸千加さん、四釜啓美さん、春名正義さん、下段左から小玉佳史さん、丸田陽子さん、多田繁夫さん、田中紀子さん、大角真由美さん

地元の農産物を 地元の食卓へ

かみふらの軽トラ市の取り組み

「地元の農産物を、もつと地元の食卓へ」をスローガンに、農業者自らが街の中に出向き、自分で育てた野菜を消費者に直接販売する「かみふらの軽トラ市」（多田繁夫代表）。

より多くの町民の皆さんに、生産者の顔が見える「安全で安心な地元の農産物」を食べてもらおうと平成25年にスタート。今年で3年目を迎え、新たな取り組みを始めた14人の想いをお伝えします。



地元の農産物を
地元の食卓へ

生産者の顔が見える 生産者との会話がある 生産者にしかできない商品説明がある

1年目は7月から10月まで月1回、2年目は7月から11月の総合文化祭まで週1回に増やして開催。この2年間の活動を踏まえて、3年目を迎え正念場となる今年の活動の方向性を決める会議が、1月から3回にわたって開かれました。

1月22日 第1回出店者会議

「お客さんは増えてきているし、毎週来てくれる人もいる」

「労力的に毎週は厳しい」

「お客さんは毎週を望んでいるよ」

出席した7人のメンバーから、思いの感想と意見が出されます。

確実に定着した感はあるものの、客の固定化、売り上げの伸び悩み、週1回の出店に伴う労力の増加など、さまざまな課題も浮き彫りに。

「何をめざすのか明確にしないといけない。町民に食べてもらう、知ってもらうだけでは続けていけない。売り上げが伸びていかないと…」

「今は辛抱の時期なんじゃないかな」
「既存の商店に、常設の販売ブースを設けてはどうだろう。存在を知ってもらうきっかけにはなる。そして月に1回は『軽トラ市』で対面販売」

「せっかくなので週1回にしたら、どこかで売っただけなら『顔が見える、会話がある、生産者ならではの商品説明』はできないんじゃない？」

地元のを、地元の人に食べてもらいたい…。しかし「商売」である以上、当然そこから利益が生まれなければ続かない。自分たちの理想と現実の間で妙案を模索します。

「最終的には人を雇って、プレハブでも専用の店舗を構えたいと思っていますが、そこにたどり着くまでにどういう手段があるのか、考えてきてほしいと思います」

代表の多田さんの言葉で第1回目の会議が終わりました。

2月12日 第2回出店者会議

「見晴台だと観光客はいっぱい来ると思うんですが、車がないと行けない。郵便局の横の駐車場だと自転車でも来れるので、こつちを軸にして、地元の人をターゲットにすべき。去年やった出張軽トラ市では『重いものが持てない』という高齢者の声もあり、好評だった。街の中でできるのであれば継続していくべきだと思っ」

「野菜の種類は、なるべく『無い』ものをなくしていくのが理想。少しでも

特集 この大地に生きる



品数を増やして穴を埋めるため、余裕があれば、誰も作っていないものは作るようにしていったほうがいい」

屋外でのテント市は、農作業が忙しい時期と重なることから毎週対応する1人と、もう一人を当番制にして週1回開催を継続。朝に品物を持ち寄って販売はこの2人に任せ、終了後に各自が品物を下げることとなりました。

しかし、ふじスーパ―への出店については日々の商品の入れ替えや補充など、労力面での大きなプレッシャーもあり「出したい人はいませんか？」の

問い掛けにはしばしの沈黙…。

「出します！ お客さんが多いから、町の人に食べてもらうには一番いいお店。あと、加工品も置けるかなって」

一人が口火を切ると、数人が出品の意思を示し、旭川のバイヤーのもとへ後日、詳細を詰めるに行くことに。

「もちろん利益を上げることは重要で大きな柱なんですけども、もう一度改めて、我々が何を目的にしているかというのを確認したいんですが…」と会議の最後に多田さん。

「軽トラ市は『地元の野菜を、地元の人が食べられない』というところが根底にあって、地元の皆さんに地元の野菜を知っていただいて、食べていただくという気持ちで始めたことを、今ここでもう一度確認させてください。めざすものを共有していないと、あっち行ったりこっち行ったりしますので…」

参加できる人は全員テントを出して売った昨年。今年はその人数を減らして、新たにふじスーパ―への出店。

「地元の食卓に」

地元の農産物を「

これまでと売り方が変わったとしても、その気持ちに変わりはない、そんな想いが伝わってくる会議でした。

3月12日 第3回出店者会議

ふじスーパ―への出店の条件については担当者との調整の結果クリアできるめども立ち、参加する意思を示してきたことのほか、町内のレストランや宿泊施設などから「軽トラ市の野菜を『売り』にして料理を出したい」と話があるとのうれしいニュースが報告されました。

週1回の直売は郵便局横の駐車場で行い、期間は7～10月、お客さんが減る時間帯をやめて1時間短くすることなどを決めたほか、直売やレストランなどへの出荷、ふじスーパ―、出張販売、イベントの各担当を決め役割を分担。企画、運営など自分たちの立場、責任の範囲内でお互い協力しながら、今年も引き続き軽トラ市を盛り上げていく態勢が整いました。

もう一步前へ：

軽トラ市のメンバー、東中地区の岩田浩志さんはいいます。

「キャベツ一つをとっても、種類はたくさんある。でも、お店に並んでいるキャベツがどんな種類なのか、サラダや煮物、どんな食べ方が適しているのか、買つ側は知らないから、意識もない。だから『キャベツ』は『ただのキャベツ』でしかない。でも、私たちの軽トラ市では、新鮮なものを『私が作ってます』って顔を出して売る。そして種類を掲示したり、美味しい食べ方のアドバイスもする。これが対面販売のいいところなんです」

新たな形に挑みつづ、生産者による対面販売のスタイルは崩さない。かみふらの軽トラ市の取り組みは、また一步前に踏み出します。





オープンしました！

地元の農産物を
地元の食卓へ

かみふらの軽トラ市 ふじスーパー「出張所」

5月11日(月)、ふじスーパー上富良野店の一角に「かみふらの軽トラ市」の販売コーナーがついにオープン!!
まだ、収穫できる作物の種類が少ないため、現在はホウレンソウなどの葉物や加工品、米などが中心ですが、今後は収穫が始まったものから順次店頭に並びますので、お買い物の際にはぜひ、チェックしてくださいね！

🎤 **売り場でお客さんに
聞いてみた！**

- なるべく地元の野菜をかうようにはしています。地元の農家さんには頑張ってもらいたいです。(60代男性)
- 最近引越してきましたが、上富良野でも気軽に買える所があるとうれしいですね。産地直送で「〇〇さんがつくりました」って売り場にあれば買っちゃいます。(20代女性)
- 軽トラ市は知ってるけど、行ったことはいねえ。ここではいつも買ってる。えっ、これ地元産？ このサラダセットがおいしいんだよ。やっぱり地元産はいいね。(70代男性)
- 軽トラ市でしか売っていない豆が置いてあったので、早速買いました。軽トラ市で売っているものは、やっぱり取れたてで新鮮だから、いいなって思います。作っている人も分かるし、買って、次に会ったときに「少し芯があったよ」とか話せるのがいいですね。(70代女性)

🎤 **常連さんにも聞いてみた！**

- 新鮮だし、値段も手ごろでおいしい。でも、のんびり10時くらいに行くと売れ切れちゃってるのが難点。あと「どう料理するの？」って聞くと、おいしく食べられる料理方法を教えてもらえるし、「この野菜、自分でも育てられる？」って聞くこともありますよ。(60代女性)
- 新鮮だし、安いし、旬のものや珍しいものもあるのがいい。それに安い。野菜についていろいろ聞けるのがいいですね。(50代女性)
- 安いし、おいしいし、野菜の質がとってもいいので買いますね。岩田さんが出していた珍しい形のブロッコリーを買ったら、とってもおいしかったですよ。(50代女性)

直売テント市もよろしくね！

毎週日曜日の8時～10時、上富良野郵便局横の駐車場で開催！期間は7月5日～10月25日です。

この場所以外にも出張軽トラ市としてどこかに出没(?)したり、豪華景品が当たる「感謝祭」など、うれしいイベントも行っていくそうなので、お楽しみに!!



想いはいつも ここにある

特集 この大地に生きる



(有)興農社、四釜農園、(有)多田農園が手掛ける加工品の詰め合わせ「かみふらのの美味しいセット」

6次産業化に挑む 農業者たち

3人の農業者の取り組み

農業や水産業などの第1次産業に従事する人が、生産だけでなく、食品加工(第2次産業や、流通・販売(第3次産業)にも業務展開することによって経営の多角化を図る「6次産業化」。

今回取り上げた「かみふらのの軽トラ市」のメンバーにも、この6次産業化に取り組む農業者がいます。

これまでの業態の枠組みを越え、新たな農業のあり方を模索する3人の取り組みをお伝えします。



「はるゆたか」へのこだわり

「今、パスタソースの試作をしていたところなんです。小さな商品開発って、どうしても価格が高くなってしまう。ですが、まずはやってみることが大切だと思います」

町内でも比較的大きな耕作面積を持つ興農社。なぜ6次化なのか。

「人口がどんどん減少し、食料の消費も減っていくだろうと感じています。」

実際、消費が落ち込めば出荷価格は下がります。会社として畑の面積は増えてはいますが、売り上げは横ばい。歩みを止めれば下がってしまう。そういった現状ですから、6次化や直接消費者の方とつながるスタイルを今から考えておかなければいけないかな、ということから始めたんです」

ひと世代前の品種で、今はほとんど作られていない小麦「はるゆたか」。古い品種のため病気に弱いうえ、収穫

がちよつど雨の多い時期に当たってしまう。収穫直前の雨は品質に大きく影響するため、生産するうえではリスクの多い品種といえます。なぜ、この「はるゆたか」にこだわるのか。

「農家にとっては生産効率の良い品種を栽培することが、コストを抑えることにつながりますが、最近は消費者のニーズも多様化していて、はるゆたかには根強い人気があります。そのお

しさが、パン好きの方にはたまらない

農業を魅力ある職業に

有限会社 興農社 ～西15線北33号～

取締役 **春名 正義** さん

はるな・まさよし 1967年、上富良野町生まれ。自社で栽培する「幻の小麦」ともいわれる「はるゆたか」を使ったパスタ、ラーメン、手延べうどん、小麦粉などを「CAMIFLAG」（カミフラッグ）のブランド名で生産・販売している。

「声を支えに次のハードルへ

製品は自社のホームページやネットショップのほか、フランマルシェ、旭川の空港や道の駅、軽トラ市などでも販売。同社の小麦粉を使ったケーキやパン、パスタ、ピザを提供するお店も増え、町内はもとより道外にも。

「直接販売に取り組むと、消費者の皆さんの声が直接届きます。そこで『おいしいよ』っていう喜びの声をいただけることはとてもうれしいですし、励みにもなっています。それまでも当然『安全なもの、おいしいものを作ろう』という意識はありましたが、そういう声をいただいたときは『はっ』としましたね」

「販売」という場に出て行き、消費者だけでなく農業とは違う業種、立場の人とかわる中で、多くのヒントをもらうこともあり、その経験は大きな支えにもなっているといえます。

ようなんですね。小ロットでも対応いただけるということで、現在も製粉をお願いしている江別製粉さんの『はるゆたかを食べてほしい』という想いもお聞きしていたので、おいしさという付加価値が付けられるこの品種は『6次化にマッチするのでは』と感じたんです。現在では、種を手に入れるのも難しい小麦ですが、存続させる意味でも作り続けたいと思っています」

想いはいつも ここにある

特集 この大地に生きる



5月、トラクターに乗りビートの種をまく春名さん



フラノマルシェのオガールにある「CAMIFLAG」のブース。商品はふじスーパーでも販売しています

「ですが、軽トラ市などで声を出してお客さんにお勧めすることは、いまだに照れくさくて…。寡黙に土に向かうことこそが美学、と思っているわけではないですが、やっぱり恥ずかしいですすね(笑)」

商品開発、そして製品化。次のハードルは、自身が最も高いと話す「売る、売れる」こと。しかし、検索すれば何でも調べられるインターネットが普及した今でも、知ってもらうことは難しいと感じているそう。

「最近『ふらの』と名の付く6次農家で、まとまっていけないが模索しています。販路を共有できますし、商品の種類も広がる。雇用を生むこともできるかもしれません。既存の組織や団体の協力もいただきながら、農業者グループで活動できればいいと考えていて近々、札幌で販売会をする予定も入っています。微力ではありますが、かみふのPRもできればと思っていますし、そこでたくさんの方の声を聴ければと思っています」

—— ストーリーを伝える

軽トラ市などに参加し、直接お客さんとかかわりを持つ中で、自分たち生産者と消費者、双方にとって喜ばしい形にするには何をすべきかを考えるようになったという春名さん。

「今は流通もよくできていて、直売してもそれほど値段が安くならない場合もあるんです。そんなとき『スーパーの方が安かった』っていう声を聞くと本当に申し訳ない気持ちになります。そこで私たち農業者も、自分たちの苦労であつたりストーリーをきちんと消費者の皆さんに伝えて理解していただく努力も必要だと思いますし、そうすることで新鮮さや安さに加えて『信頼』というものにお金を使っていただけのように、良好な関係が生まれるのではないかなと感じています」

資材費の高騰、売価の伸び悩み、そして後継者不足。日本の農業を取り巻く状況は、非常に厳しいのが現実。春名さんはいます。

「後継者を設けない農業者が多いのは、やはり農業に魅力がないから。それは農作業のイメージだったり、収入だったり、お嫁さんが来てくれなかったり…。であれば、後継者や新規就農者にとって農業が職業として成り立つような、魅力的なものにしていかなければなりません。美しい景色の中で農業ができることの素晴らしさ、収穫の喜び、そしてその裏にある苦労や難しさ。そんな背景を共有して消費者の皆さんと深くつながることで、新しい価値を創り出すことができれば、今よりもっと魅力ある職業になり得るのではないかなと思っています」

町内では「菓子司 あかがわ」「コーヒー&ブレッド えん」「パティスリーメルシー」「レストラン ふらのグリル」などで、興農社の小麦を使った商品を提供しています。



「おもしろそう」から始まった

「知人の紹介で、鷹栖で使わなくなった機械を一式買わないかっていう話があったんです。その日の晩に、両親と家族会議を開いたら『おもしろそうだな』っていつ話になって。えへへ」

冬に仕事がなくなる従業員を過年雇用しようとして最初、シイタケ栽培を考えものの、設備投資が多額なことが分かり断念。「無理かな…」と話してい

た時に、トマトジュースを作る機械の話が舞い込みました。

「で、次の日ぐらいいに『買います』って返事したんです。即決。商品になったらすごいじゃないですか、自分のところの商品って。ただそれだけ笑」

トマトは過去に作っていましたが、「即決」した3年前は作っていない状態。ジュース作りの決断は、そんな状況でいきなり下され、ジュースにする品種を決めたのもこんな感じで…。

おもしろくて、楽しいことを

四釜農園 ～西11線北34号～

四釜 啓美さん

しかま・ひろみ 1980年、上富良野町生まれ。ミニトマト「ラブリーさくら」を完熟した状態で収穫し、瓶詰め、ラベル張りまで1本1本手づくりした「四釜さん家のトマトジュース」を製造・販売。実家を継ぎ父 芳之さん、母 はるみさんと農園を営む。

「トマトジュースはもうありふれてるので、大玉だったら、ちよっとおもしろくないかなと。とにかく、すごいおいしいトマトでつくろうって話になって…。たまたま、この品種を前の年に食べていて、すごい美味しかったんです。で、『おいしいからそれしようー』っていつ話になって決めました。すごいいい加減なんです」

「トマトジュースはもうありふれてるので、大玉だったら、ちよっとおもしろくないかなと。とにかく、すごいおいしいトマトでつくろうって話になって…。たまたま、この品種を前の年に食べていて、すごい美味しかったんです。で、『おいしいからそれしようー』っていつ話になって決めました。すごいいい加減なんです」

「即決」した3年前は作っていない状態。ジュース作りの決断は、そんな状況でいきなり下され、ジュースにする品種を決めたのもこんな感じで…。

「トマトジュースはもうありふれてるので、大玉だったら、ちよっとおもしろくないかなと。とにかく、すごいおいしいトマトでつくろうって話になって…。たまたま、この品種を前の年に食べていて、すごい美味しかったんです。で、『おいしいからそれしようー』っていつ話になって決めました。すごいいい加減なんです」

— 想いがある

「軽トラ市はメンバーの年代が幅広いので、違う年代と一緒に何かをするっていうのがすごく思っています。ライバルとかじゃなくて、親身になっていろんなことを相談し合ったりできる仲間みたいな感じ。意外と地域の中のつながりがないので、みんなと一緒に仕事をする時間は、私の中ではこ

特集 この大地に生きる

く貴重です。もちろん、売り上げがあることが一番なんですけど、それじゃないものがあるっていう前提というか、思いが軽トラ市にはあるかなって。それは、周りとか外に対しての想いと、農業をやっている人同士のつながりっていうか…。私は軽トラ市、すごくいいなって思っています」

農業者としての軽トラ市の存在をこう語る一方、売買の方法としての最大の魅力は「対面販売」だといいます。「地元といっても、知らない人だらだらだの他人じゃないですか。いくら野菜がおいしいとか地元産だとしても、誰が作ったか知らなかったら東川産でも、旭川産でも、かみふ産でも変わらないのかなって。一回でも話せば、名前は知らなくても『こういう人たちが作ってる』っていうことは分かる。それが安心感や地元愛にもつながるんだと思います。結局、知り合いにならなければ身近な存在にはなれないっていうか、知らなければ何の意味もないのかなって。知ってもうことで、自分たちにも、買う側にもメリットがあると思うんです」

「楽しい」が前提なんです

高校卒業後は就職し、20歳の時に実家に戻り農業を手伝い始めましたが、時を経て、後継者となる際には非常に悩んだそうです。



トマトジュース作りを支える四釜農園の皆さん



TOKOファームが販売するジュース。町内向けには別ラベルで販売



フラノマルシェにあるオガールの四釜農園の販売ブースに置いていた四釜さん手づくりのポップ



2月。ハウスの中でトレーに小さな種をまく

「農業が好きで、やりたかったから仕事を辞めたっていうのはあるんですけど、継ぐっていう選択肢は、普通じゃないですか。男の人は自然に継いじゃったっていう人が多いですけど、女性の場合、よっぽど覚悟しないとやるって決められない。でも、その土地とか、今まで続けてきた歴史みたいなものが、もうなくなるのが嫌だっていう女性の農業後継者は多いですし、自分もそれは嫌だなと思いました、なくなっちゃうのは…。歴史っていうより目の前にある、今まで自分が過ごしてきた畑がなくなるんだって思ったら嫌だとは思いますよね」

女性の農業者としてたくさん悔しい思いを味わい、「正直、負けたくないっていう気持ちは、すごいあります!」と話す四釜さん。しかし、「私って、のし上がってやろう根性がすごいんですよね、たぶん。負けず嫌いなところがあるので。わははは」と明るく笑い飛ばします。

「両親はすごいと思うし、尊敬しています。□では言いませんが…(笑)。血筋的に新しい物好きというか、チャレンジ好き。何かおもしろいものに乗っかるっていうか、何事も『楽しい』が前提なんです。とはいっても、今は楽しいことと同じくらい、苦しいこともありますけど(笑)。でも、働きに来てくれている人には、最大限に楽しくあってほしいと思います」

ジュースはフラノマルシェのほかインターネットでも販売。町内では雑貨屋兼カフェ「花七曜」、ふじスーパーで8月から販売予定です。



自分にとっての到達点はない

有限会社 多田農園 ～ 東9線北18号 ～

代表取締役 **多田 繁夫** さん

ただ・しげお 1952年、上富良野町生まれ。にんじんジュースやにんじんピクルス、野菜まん、おやきの製造・販売のほか、2010年からは自社で栽培したぶどうを使ったワインも販売。農園内では製品の販売を行うほか、カフェ、宿泊施設も併設している。

無農薬と減農薬の2種類(いずれも有機質肥料栽培)。にんじんにはがんを予防する効果があり、がんになっても進行しないように食事療法として愛飲している方も。「にんじんにはβカロテンが多く含まれていて、遺伝子を傷つける体内の活性酸素を抑えてくれる。農薬や化学肥料にも遺伝子を傷つける成分が含まれていますので、食事療法などをしている人にとっては、できるだけそういうものが少ない方が効果が高いだろうということから始めました。そういう人が待っている、と…」

強い使命感を持って

「おやきも手作り。6年ほど前に長野のおやきを知って、野菜や惣菜が入っていて、健康のためにはいいやつだなと思いついて。うちの野菜作りと『健康にいいものを提供する』という経営理念にもピッタリでしたので、これなら自信を持って販売できるということで始めました」

ワインの知名度も徐々に上がって専門家からも高い評価を受けるまでになり、今年はブドウの栽培面積を増やすとともに、醸造施設の整備にも着手。加工品の製造・販売、農業体験を受け入れるファームイン、宿泊業などさまざまなことを手掛けてきた多田さんで

食べ物の大切さを意識する

「人間は60兆個もの細胞からできていて、新陳代謝をして、常に古い細胞が新しい細胞へと入れ替わる。そして、数年かけてすべての細胞が入れ替わります。その細胞をつくっているのは薬ではなく、当然食べ物。ですから、新しい細胞に良い物を吸収させれば、全部が良い細胞に入れ替わっていく。どれだけ食べ物がかかっているかを意識する」

これを知って意識したんです」

毎年、どうしても出る3割の規格外品。規格外として出荷するにも輸送コストがかかる。相場が安いときは利益がゼロかマイナスという厳しい状況の中で、廃棄せずに何とか活用できないかと商品開発のため、16年ほど前に立ち上げたのが「にんじん工房」。

「にんじんジュースって難しいんですよ。根もので土が付いているので、土壌菌という細菌が必ず付いている。こ

の菌は通常の殺菌温度では死なないんですよ。熱に強い。だから、ジュースにしてくれる所ってそんなにないんです。大手のメーカーだとすごい熱で殺菌しますが、成分的にはあまりいいことはないですよ。うちでは、皮の表面にいる菌を落とすために、手で一本一本皮をむいています、ピーラーで「

ジュース注文の9割を占める「スウィートにんじん搾り」は搾ったそのま、水も加えない全くの無添加で、

特集 この大地に生きる



「キャンセルで苗木に余りが出たからやってみないか、と言われて始めたんです」。ぶどう栽培について見学者に説明する多田さん



2007年から失敗と試行錯誤を重ねながら、苗木から育て上げたぶどう園と3種類のワイン(ピノ・ノワール、メルロ、シャルドネ)



ほかほかの野菜まん・おやきと、ふじスーパーで販売中のワイン用ぶどうから作ったジュースなど

すが、すべてが自身の経営理念の延長線上にあるといえます。

「1つは環境に配慮した農業。人と環境の調和。2つ目は健康な社会づくりに貢献する。3つ目が農村と農業の価値を高める。これに沿った形で、ここ10年くらいやっています。一見何でもやってみるのに見えるかもしれませんが、そこからは外してはいません。自分にとっての到達点はないですね。到達してしまえば、それはただの自己満足だけで終わってしまいますから」

中でも、特別な想いを持って取り組

んでいるのが教育ファーム。本場のフランスにも行き、農家が国民の間で非常に尊敬されている関係性を肌で感じてきたそうです。

「例えば、いくつかの国名が書かれたリングをフランス人に食べさせて、どの国のリングがおいしかったと聞くとみんな『フランス』って答える。本当はおいしくなくても。そういう国民性をつくったのが教育ファーム。小さいころから農村、農家に繰り返し足を運んで生産者と触れ合う。そこで、農業体験や見学に加えて、農業者自身が

工夫して教材を作り、自ら講師となって授業を行なっています。教育的な要素をプラスして、いろいろなことを学んでもらう。最終的には、自国の農作物を優先的に食べるようになるんですから、国の食料自給率にもつながってくる話なんです。すぐに結果が出るようなことではないですけど、農業と農村のステータスを上げるために『これだけは絶対やらなきゃならないな』っていう強い使命感のようなものがあります。何十年かかるかは分からないけれども、ここで『種』をまいておこう

と想ったんです。道内にもやっていると人はいませんが、あくまでも個人なので周りからは異端児というか、そういう目で見られちゃいますけど(笑)」

農業とは…

「改善するプロセスを

楽しむのが農業である」

農業者として先駆的な取り組みを続ける多田さん。ある一冊の本(※)に書かれていたこの言葉に、胸を揺さぶられたといいます。

「1年が終わってダメだったとき、農家は『天気が悪かったから取れなかった』『相場が安かったからダメだった』と、愚痴ばかりになるんです。当然、失敗は毎年ありますが、改善するプロセスを楽しむこと自体が農業ということであれば、来年また楽しみじゃないですか。この言葉を知って、すごく救われています。いいものが取れなかったら、やっぱり落ち込んで暗くなっちゃう。あれが悪かったのかな、これが悪かったのかなっていろいろ考えて。でも、落ち込んでみても結果は変わらないんだから、それを改善するプロセス、楽しみを与えてもらったという気持ちで、次の年に取り組むというのは全然違う、プラスですから。この考え方には随分と助けられていますよ。でも、最近は忙しくて、忘れがちなんですけど(笑)」

※「農で起業する! 脱サラ農業のススメ」 杉山経昌著 築地書館 2005年
多田農園の商品はインターネットからも購入できます。



「ふら農嬢」のメンバー。前列左から藤田恵美さん(中富良野町)、安丸千加さん(上富良野町)、本谷志雅子さん(富良野市)、後列左から四釜啓美さん(上富良野町)、大角真由美さん(同左)、高橋友美さん・誠人くん(同左)、前多里美さん(富良野市)

私たちだから できること

女性農業者グループ ふら^{のっこ}農嬢の取り組み

富良野地方の女性農業者7人でつくるグループ「ふら農嬢(ふらののっこ)」が今年、就学前の児童とその保護者を対象とした食育活動「ふらの野菜探検隊」を立ち上げます。

活動第1弾となる7月11日を前に、女性の農業者として行う「農」と「食」をつなぐ取り組みへの想いを、代表の安丸千加さん、食育企画担当の四釜啓美さんにお聞きしました。

特集 この大地に生きる



日中の農作業終了後、腹ごしらえをしながら「野菜探検隊」の打ち合わせをするメンバー



女性として
母親として
農業者として
伝えたいこと…



野菜のおいしさを伝えたい

「ある方から『今の人たちは野菜のなり方も知らない』っていうことを聞いて…。子どもたちの孤食が多い、親が子どもに食事の仕方を教えられない、一品食いなど『正しい食べ方をしない』『みだいな話をされたんです。町の出前講座でも、かみふの食生活の実態を聞いて『食事を大切にしないな』って」(安丸さん)

これまでは、フラノマルシェや町内外のイベントなどでの直売が中心。しかし「自分たちだからできることをやりたい」との思いが、今回の食育活動立ち上げにつながっています。

「メンバーで居酒屋に行つてサラダを食べたりすると『おいしくないね』とか、おいしかったら『この品種なん

町内でドラマ&TV番組収録中！ ～「ふら農嬢」の活動も紹介されるよ～

「ふら農嬢」代表の安丸千加さんが平成25年に立ち上げ、自ら代表を務める全道の女性農業者でつくるグループ「はらぺ娘(こ)」をモデルにしたNHKの北海道発地域ドラマ「農業女子 “はらぺ娘”」(NHK BS プレミアム)と、関連ドキュメント番組「北海道スペシャル」(NHK総合)の収録が町内で進められています。

女性農業後継者の苦悩と奮闘、北海道農業の今と希望を描くドラマで、ストーリーにはここで取り上げた「食育活動」の取り組みも織り交ぜられるようです。ドラマは今年の冬、ドキュメントは秋ごろ放送予定です。

また、同じくNHKBSプレミアムで8月放送予定の「新日本風土記」では、富良野エリアにスポットを当て、その中で「ふら農嬢」の活動やメンバーの農作業風景などが紹介される予定です。放送日は後ほどお知らせします。お楽しみに！

だろっね』みたいな話ですごく盛り上がるんで、農家じゃない友達が行った時に『サラダって、おいしいって思ったりする？』って聞いてみたんです。私たちなら『このレタスがおいしい！』ってなるんですけど、彼女たちは『サラダはサラダ』みたいな反応で、野菜一つ一つがおいしいかどうかでは食べていない様子なんです。農村地帯に住んでいてもそんな感じだったというのを最近知って『あ、そうなんだ』と…」(安丸さん)

「野菜探検隊」の内容は、食べることにいただきます・ごちそうさまの意味を考える、畑の作物の見学と試食、地元の野菜を育てる・食べられるお店と簡単な野菜料理のレシピの紹介などで、新鮮野菜のうれしいお土産も用意。メンバーによって収穫物も違うた

め、夏と秋の2回を実施予定で、子どもと親、両方が楽しめるメニューを考えているそうです。

「食への栄養素までは分からないけど、農業者だから『この野菜はおいしいよ』っていつ伝え方はできる。難しいことじゃなく、農業と食、野菜と食みたいな感じでやろうかなって。『こんなにおいしい野菜があるんだぞ』っていうことを知ってもらうことで、お互いにメリットがあるんじゃないかと思っています。食育っていうほど、大きなものじゃないのかもしれないですけど」(四釜さん)



「農」と「食」の架け橋に

「コンビニ弁当、冷凍食品、スーパーの総菜…。手軽に食べられる食材が、簡単に手に入る現代。週に1食だけでも、地元の野菜を使った手作りの料理を家族で囲む。そんな意識を持つてもらえればと、2人はいいます。

「食育って範囲が広い。でも、自分たちは農業者。その位置からは絶対に離れないっていつか、そこと食べることをつなぐことだけに集中しようって話しています」(安丸さん)

メンバーのうち3人が、子どもを持つ母親。女性として、母として、農業者として、自分たちだからこそできる「農」と「食」の架け橋に…。7人の新たなストーリーが始まります。

昨年の
参観日では

上富良野小学校 11月8日 地域公開参観日



道徳用教材「私たちの道徳」を使い授業

11月8日の地域公開参観日では、学級担任による道徳の授業が行われ、クラスごとに「自分の役割を理解する」「公共心を育てる」などのテーマに沿って学習する姿を参観。

引き続き行われた全校音楽集会では児童全員で「上小賛歌」を合唱し、日ごろの練習成果が披露されました。

今年の地域公開参観日では全校音楽集会のほか、道徳の授業で命やいじめをテーマに話し合う予定です。

上富良野西小学校 12月3日 音楽集会



地域の方に見守られての全校合唱

12月3日、体育館に保護者と地域の方を招いて音楽集会が行われ、各学年の児童による器楽合奏と合唱、スクワールの演奏が披露されました。

保護者からは、真剣に演奏するわが子の姿に「成長したなあ。感動して涙が出そう」という声も。

音楽集会の最後には児童全員による合唱が行われ、参観した方からは大きな拍手が贈られ、「良かったよ!」との声も聞かれました。

小学校・中学校

参観日の 授業を 公開します!

町内の小・中学校では地域に開かれた学校をめざし、町民の皆さんから学校運営の意見をいただくため、自由に授業を参観できるように公開しています。特に、多くの方に「見ていただきたい」と地域公開参観日やオープンスクールなども設けています。

時間内であればいつでも参観できますので、ぜひ学校へお越しください!

上富良野小学校

◆参観日 学級担任による授業

【1・2年】

7月2日(木) 13時40分～14時25分
12月1日(火) 13時40分～14時25分
3月2日(水) 13時40分～14時25分

【3・4年】

7月3日(金) 13時40分～14時25分
12月2日(水) 13時40分～14時25分
3月1日(火) 13時40分～14時25分

【5・6年】

6月30日(火) 13時40分～14時25分
12月3日(木) 13時40分～14時25分
2月29日(月) 13時40分～14時25分

◆地域公開参観日

学級担任による道徳の授業・
全校音楽集会

【全学年】

11月7日(土) 8時45分～10時35分



上富良野西小学校

◆参観日 学級担任による授業

【1・2年】

10月20日(火) 13時20分～14時5分
12月10日(木) 13時20分～14時5分
2月23日(火) 13時20分～14時5分

【3・4年】

10月22日(木) 13時20分～14時5分
12月11日(金) 13時20分～14時5分
2月24日(水) 13時20分～14時5分

【5・6年】

10月21日(水) 13時20分～14時5分
12月9日(水) 13時20分～14時5分
2月25日(木) 13時20分～14時5分

◆一日参観日 学級担任による授業

【全学年】

7月22日(水) 8時30分～14時5分



東中小学校

◆参観日 学級担任による授業

【全学年】

7月9日(木) 13時10分～13時55分
9月12日(土) 8時50分～9時35分
12月3日(木) 13時10分～13時55分
2月25日(木) 13時10分～13時55分

上富良野中学校

◆参観日 学級担任による授業

【全学年】

7月17日(金) 13時25分～14時15分
【1・2年】
2月1日(月) 13時25分～14時15分

◆オープンスクール

学級担任による授業

【全学年】

10月21日(水) 8時45分～14時15分

問合せ

教育振興課学校教育班

☎6699

支給額が改定されました

ご存じですか？ 障がい児・障がい者の手当

平成27年4月から次の手当の支給月額が改定されました。

手当を受給するには申請し、北海道の認定を受ける必要があります。該当する方は、保健福祉課で手続きをしてください。また、手当の種類により対象となる障がいの程度が異なりますので、詳しくはお問合せください。

特別児童扶養手当

▼養育する方に支給されます

精神、知的、身体障がいなどのある20歳未満の児童の福祉の増進を目的として、次の要件に該当する児童を養育している方に支給されます。

対象者

①身体障害者手帳のおおむね1～3級程度に該当する児童(内部的疾患を含む)

②療育手帳の判定がA・B程度の知的障がいと同程度の精神障がいのある児童(手帳を持っていない児童も対象となります)

支給月額 (児童1人につき)

1級 5万1千100円
2級 3万4千30円

支給制限

①対象児童が施設に入所している場合
②対象児童が障がいを理由に公的年金を受給している場合

③養育者の前年所得が基準額以上の場合

問合せ 保健福祉課子育て支援班

☎69987

障害児福祉手当

▼20歳未満の方に支給されます

重度の障がいにより常時特別な介護を必要とする児童の福祉向上と、精神的、物質的な負担軽減のために支給されます。

対象者

身体、知的、精神に重度の障がいがあり、日常生活において常時特別な介護が必要な満20歳未満の在宅障がい児で、次のいずれかに該当する児童。

①身体障害者手帳のおおむね1・2級程度の身体機能の障がいのある児童

②身体機能の障がい長期にわたる安静を必要とする病状があり、その状態が①と同程度以上の児童

③最重度の知的障がい精神障がい

あり、日常生活において常時介護を要する程度以上の児童

④身体機能の障がいや病状、重度の知的障がい、精神障がい重複し、その状態が①③と同程度以上の児童

支給月額 1万4千480円

支給制限

①受給資格者かその配偶者、扶養義務者の前年所得が一定額以上ある場合
②施設入所や公的機関の措置で入院している場合

③障がいを理由に公的年金を受給している場合

問合せ 保健福祉課子育て支援班

☎69987

特別障害者手当

▼20歳以上の方に支給されます

著しい重度の障がいにより常時特別の介護を必要とする特別障がい者の福祉の向上と、精神的、物質的な負担軽減のために支給されます。

対象者

身体・知的・精神に重度の障がいがあり、日常生活において常時特別な介護が必要な満20歳以上の在宅障がい者で、次のいずれかに該当する方。

①身体障害者手帳のおおむね1・2級程度の異なる障がい重複している方、これらの障がいと常時介護を必要とする精神障がい(最重度の知的障がい含む)が重複している方

②①に該当する身体障がい精神障がい1つと、身体障害3級程度か日常生活動作が著しく困難な精神障がい、知的障がいなどが2つの計3つ以上の障がい重複している方

③両上肢、両下肢、体幹機能におおむね1・2級程度の障がいがあり、日常生活動作が著しく困難な方

④内部機能のおおむね1級程度の障がい身体機能の障がい、長期にわたる安静を要する病状があり、そのため絶対安静の状態である方

⑤精神障がい日常生活に常時介護を要する程度以上か、最重度の知的障がい日常生活が著しく困難な方

支給月額 2万6千620円

支給制限

①受給資格者かその配偶者、扶養義務者の前年所得が一定額以上ある場合(受給資格者の所得には、非課税の障害基礎年金などを含まず)

②施設に入所しているか、3か月以上入院している場合

問合せ 保健福祉課福祉対策班

☎69987

支給制限での注意点

いずれの手当も所得が限度額以上の場合、その年度(8月から翌年7月まで)の手当の支給が停止となります。



5/12 死亡事故ゼロの願いを
込めて交通安全祈願会

上富良野町生活安全推進協議会による春の交通安全祈願会が深山峠の交通安全守護地蔵前行われ、関係機関や団体などから35人が参加して交通安全を祈願しました。

同協議会の島瀬良一会長は「交通事故死亡事故ゼロ日数2千日をめざすとともに、今後も交通安全対策の充実に全力で取り組んでいきます」とあいさつ。祈願終了後には全員が交通安全の旗を持ち、国道237号線を走行するドライバーに安全運転を呼び掛けました。



悲惨な交通事故が起きないように参加者全員で祈願

5/13 かみふを猛烈アピール
全国観光PRコーナー



たくさんの人が訪れた上富良野町のPRコーナー

5月13～19日の1週間、東京都庁内にある全国観光PRコーナーに、上富良野町のブースが開設されました。

全国自治体の情報発信拠点として設置されているもので、「ラベンダー発祥の地より夏の香りをお届け」と銘打ち、会場では鉢植えのラベンダーと「5べとん」が来場者をお出迎え。ラベンダー・蒸留水やせっけん、アスパラなどの特産品を販売したほか、パンフレットと香り袋を配布して町を猛烈PR！ 来場者からは「昔、行ったことありますよ。丘の風景がいい」「ラベンダーが満開の時期に行ってみたいわ」とのうれしい声が聞かれたほか、特産品の売れ行きも好調で、たくさんの人でにぎわっていました。

5/20 おいしいお米ができる
かな？ 田んぼの学校

水士里ネットふらの(富良野土地改良区)による「田んぼの学校」が島津地区の水田で行われ、わかば愛育園の園児10人が参加しました。

いつも食べているお米についてのお話を聞いた後、園児たちはいよいよ田植えに挑戦！ 田んぼに素足で入ると「土がヌルヌルする」「動きづらいうよ」と土の感触に大はしゃぎ。先生と一緒に苗を一本ずつ丁寧に植えた後は、「大きくなつてね！」と水田に向かって手を振っていました。



深く植えないと浮いてくる苗に園児の手つきも慎重

5/20 ママになる準備は万全
よ♥マタニティ教室



人形を使って赤ちゃんを抱く特訓中！

妊婦さんを対象としたマタニティ教室「いきいきババ・ママ」が、子どもセンターで行われました。

初めに人形を使って抱き方を学んだ後、0～7か月児とその親が対象の「びよびよ」を訪問。入院や出産の経験談に耳を傾けたほか、抱っこ体験では先輩ママから預けられ、抱っこすると泣き出す赤ちゃんに「感触や癖が、お母さんと違うんだなあ」と大苦戦。「子どもに慣れた私でも、お母さんの抱っこにはかえりません」との職員の話に納得の声が上がっていました。教室は2か月に1回開催しています。抱っこやオムツ替えの体験などのほか、妊婦さん同士の仲間づくりの場としてもご利用ください。



高齢者事故の分析から、傾向と対策を解説

上川地区交通安全推進協議会交通安全推進員の穴田幸陽さんを講師に、いしずえ大学と道民カレッジの連携講座「高齢者のための交通安全教室」が社会教育総合センターで行われました。高齢者の歩行中の事故で、最も多いのが道路の横断中。「高齢になると判断力と敏しょう性が落ち、道路を『渡るどころ』」と思っても渡りきれない場合がある。特に夜間はドライバーの視界も狭まり、ライトが届きにくい右側からの横断者に気付かず、事故が起きるケースが多い」と高齢者事故の傾向を説明。横断歩道や信号のある交差点を渡ることで、夜光反射材着用の大切さを強調していました。

5/22 高齢者特有の交通事故を防げ 交通安全教室

5/23 児童館では、楽しいイベントがめじろ押し！

5月23日、町内2か所の児童館で楽しいイベントが開催されました。

東児童館では「やさいをつくろ」と題して野菜の種まき。敷地内の畑や育苗用ポットに、枝豆やトウモロコシなどの種をまきました。



目印に沿って枝豆の種まき



牛乳パックを切って工作

パックからブーランとフリスビーを作り、完成した児童から順に楽しそうに飛ばしていました。夏にはお祭りもありますので、今からお楽しみに！

5/24 ホールインワン続出！パークゴルフ大会

17住民会から30チーム、総勢165人が参加して、第17回住民会対抗パークゴルフ大会が上富良野町パークゴルフ場で開催されました。

競技は4人1組の団体戦と個人戦の2種目で、3コースを回った成績で勝負。どの選手も練習の成果を発揮して巧みなショットを繰り出し、この日は9人がホールインワン賞に輝きました。優勝者は次のとおりです。

優勝 団体の部 泉町住民会A
男子の部 江口明さん
女子の部 六本木美さん



ライバルたちに見守られ、スーパーショットを披露！

5/27 絶景の富良野岳を登る 高等学校登山競技大会



選手から感嘆の声が上がるほどの絶景

5月27～29日の間、第54回北海道高等学校登山競技大会旭川支部予選会が吹上温泉保養センター白銀荘を会場に行われ、5校から67人が参加しました。大会では十勝岳温泉登山口から富良野岳、上ホロカメットク山を経由して下山するコースを4人1組で登り、登山計画に沿った行動やチームワーク、雪渓などを安全に歩く技術、登山のマナーなどを審査。ほかに登山知識のペーパーテストや天気図作成、テント設置技術などを競いました。28日の登山は快晴の中行われ、荘厳な姿を見せる山々に、選手からは「すごい！」「きれい」と興奮した声が上がっていました。結果は、男女ともに旭川東高校が優勝しました。

今日も
あしたも
あさっても

やっぱり
このまちが
好きだから

サッポロビール株式会社
バイオ研究開発部 北海道原料研究センター
センター長 須田 成志 さん

すだ・なるし 1967年、稚内市生まれ。

学生時代からホップをテーマに研究し1992年、サッポロビール入社。ホップの品種開発とその周辺技術の基礎研究を行う研究員として、町内本町の植物工学研究所(当時。現在の北海道原料研究センター)に配属される。99年に東京本社購買部へ異動となり、ホップの買い付けを担当。2012年、再び上富良野に戻り現職。

「学生時代、ウイルスによる植物の病気の研究をしていたんです。マニアクでしょ!?」(笑) 『世の中の役に立つの?』っていう感じですよ。それがあつたんですよ、役に立つ場が」

ホップはなじみが薄いマイナーな植物で研究者が少なく、未知の部分も多い。ため「おもしろそう」と思ったのが研究テーマにしたきっかけ。

「ヨーロッパのチェコで、ウイルスによる病気が原因でホップの品質が年々下がっているという状況を聞きつけて、サッポロビールが『じゃあ、原因を調べて対策を打ちましよう』っていう話をし出したんです。それが入社2〜3年前。自分が研究していた成果を使える場ができたんですよ。すごい巡り合わせですよ」

大正14年建設、本町3丁目に今も残

る旧上富良野ホップ園乾燥場、現在の北海道原料研究センターは公的機関を含め国内で唯一、ホップの品種開発を行う研究施設。日本で栽培されているホップのほぼすべてが、ここで開発されているといつても過言ではなく、長年黙々と続けられてきた研究開発の努力の結果、さまざまな品種がそろってきたといえます。

「アメリカやヨーロッパからの売り込みもあり、香りに特徴がある、苦みが強いといったキャラクターにあふれたビールが登場しています。そこで、注目されている原料がホップなんです」

従来は使いやすい、品質が安定している、コスト削減に結びつくなど、どちらかといえば会社の課題解決のための開発が主流。しかしこれからは、今まで埋もれていた個性的な品種のニーズが高まる。と須田さんはみています。

「私たちが作った品種の違いをお客様に感じていただける状況が整いつつあると思っています。スタッフの鼻息が荒くなっているところなんです(笑)。」

『まるごとかみふらの』は飲みやすさ重視の正統派ビールですが、違った品種の栽培がここから始まれば、もっとおもしろい味を出すこともできるでしょうし、でき得る下地がやつとできてきた。おもしろくなってきたかなと」

ホップは種子から育てて実がなるま



富原地区にある試験圃場で、ホップの生育状況を確認する

でにまず3年、その後成分評価、収量や品質の評価、醸造評価を経て、栽培の可能性がある産地で数年間にわたる適応性試験へ。そこで問題がなければ晴れて新品種誕生となるそうですが、それまでに要する期間はざっと10年。自身が開発にかかわったのは研究者としての7年間で2品種、センター長としては4品種。しかし、実際に製品に使われたのは2品種です。製品化の難しさがうかがえます。

ホップ一筋の二十数年。自身を含め、これまで研究者たちがまいてきた数々の品種開発という名の「種」。その種が芽吹き、今新たな「実」の収穫時期を迎えているといえます。

「この上富良野でそろそろ、おもしろい成果、『実』を収穫できそうです。新しいホップを開発して、お客様に感動いただける商品に結びつけるのが私たちの目標。早くその成果を皆さんにお見せできるよう頑張りますので、引き続き応援をよろしくお願いします!」

さあ皆さん、サッポロビールにどんな「実」がなるのか、注目です!!

問合せ

町民生活課自治推進班 ☎6985



楽しく学ぼう
いつまでも！

生涯学習情報

問合せ・申込み
教育振興課社会教育班 ☎5511

図書館「ふれんど」 臨時休館

図書館「ふれんど」では、蔵書点検のため6月23日(火)～28日(日)の間、臨時休館します。返却期限を過ぎている図書は、至急返却してください。
休館中に本を返却される場合は、ブックポストをご利用ください。
問合せ 図書館「ふれんど」
☎3158

マイプラン・マイスタディ講座 「おはなしたんけん隊」

歌を楽しくんだり、宮沢賢治の童話を読んでその世界を体験し、舞台表現にも取り組みます。

日程 7月4日(土)～1月30日(土)
定員・参加料 15人・1千円
申込み・問合せ ふらの・ものがたり文化の会 代表 大西邑子
☎4278



昨年のおはなしたんけん隊

北海道博物館研修会

郷土館では、北海道開拓記念館と道立アイヌ民族文化研究センターを統合し、今年4月にオープンした北海道博物館の研修ツアーを開催します。
日時 7月12日(日)
7時30分出発、17時帰町予定

場所 北海道博物館、北海道開拓の村(札幌市)

定員 15人

参加料 1千300円(保険代100円、入館料1千200円)

※65歳以上は入館料無料です

申込期限 6月25日(木)

その他 車中の飲食物は各自で準備
※希望者には昼食を800円で手配します
申込み・問合せ 公民館
☎3158

放課後事業

教育委員会では、地域の皆さんのご協力をいただきながら、安心・安全な子どもの活動拠点「放課後スクール」と、放課後や休校日(夏休みなど長期休校含む)に、保護者が仕事などで留守となる児童の預かり事業「放課後クラブ」を行っています。

放課後スクール

場所 上富良野小学校

上富良野西小学校

日時 月～金曜日の放課後～16時



※下校後、再登校しての参加は不可
休業日 学校休校日、日曜日、祝日
対象児童 小学1～6年生

登録費 1千200円(1年間)

※利用状況による返還はありません
帰宅方法 終了後、各自で帰宅します

放課後クラブ

場所 上富良野小学校
(上富良野西小学校と東中小学校の児童は、スクールバスで移動します)

日時 月～金曜日(祝日を除く)の放課後～18時、学校休校日の8～18時。

有料で7～8時(小学校休校日のみ)と18時～18時30分の延長利用も可能

休業日 日曜日、祝日、12月31日～1月5日

対象児童 小学1～6年生

利用条件

●保護者の就労などにより、放課後に留守家庭となる世帯であること(就労証明などの書類提出)

●町税などに滞納がないこと

利用料 1千円(1か月)

※延長利用は30分につき100円

帰宅方法 必ず保護者に迎えに来ていただきます

申込方法

利用申込書を提出してください。

なお、前年度に登録した方も、必ず新たに提出願います。



毎月第3日曜日

「道民家庭の日」には
家族で過ごそう！



を「道民家庭の日」としています。

また、道民家庭の日「家族ふれあい優待制度」協賛店・施設では、毎月第3日曜日に優待券を持参すると割引などの特典も！
ぜひ、ご家族でございませう！！

優待券ダウンロード

北海道青少年育成協会のホームページにバナーがあります

町内の協賛店・施設

・後藤純男美術館レストランふらのグリル

・後藤純男美術館

・北海道遺産 土の博物館 土の館

・トリック・アート美術館

・フラワースタンドかみふらの

・日の出公園オートキャンプ場

問合せ

(公財)北海道青少年育成協会

☎011-231-6451



こんなにあるよ！

町内の子育てサークル



町には現在、7つの育児サークルがあり、季節のイベントを行うなど、それぞれが楽しく活動しています。活動日や時間、場所、加入しているお子さんの年齢もさまざま。活動内容について今回、各代表から紹介いただきましたので「自分に合うかも!？」と思うサークルがありましたら、気軽にご連絡ください。

『チヨ回Q』 毎週月曜日 9時30分～11時30分

活動場所：公民館

0～3歳までの子どもを持つ11世帯(子ども13人)が、仲良くケンカしながら活動しています。誕生会や運動会、クリスマス会などのほか、公園にも遊びに行くアクティブなサークルです。(西間代表)

『flower♥smile』 毎週火曜日 10時～12時

活動場所：社会教育総合センター

0～3歳の子どもがいる7世帯で活動。町の出前講座を活用して子育ての情報交換をしたり、おしゃべりを楽しんでいます。クリスマス会やお別れ会など、子どもたちが喜ぶイベントも実施しています！(加藤代表)

『いないいないばあ』 毎週水曜日 10時～12時

活動場所：公民館

0～3歳までの子どもが集まっています。気軽な雰囲気、サークルが初めての親子さんにもお勧めだと思います。「時々、行こうかな…」でもOK！(北村代表)

『neco neco』 毎週水曜日 15時～17時

活動場所：社会教育総合センター

幼稚園児を中心に兄弟を含め、大勢で遊んでいます。節分には豆まきをして、恵方巻きをみんなで作って食べたり、バレンタインにはお菓子を作って食べました。楽しく活動しているサークルです。(佐藤代表)

『moco moco』 毎週木曜日 10時～12時

活動場所：公民館

0～5歳までの子どもが集まっています。今年は大きな行事はありませんが、みんなで公民館を走り回っています。持ち寄りパーティーもしていますよ！(金子代表)

『マミイ』 毎週金曜日 10時～12時

活動場所：子どもセンター

今年はメンバーがたくさん増え、ママの年齢層が幅広くになりました。0～6歳までの子どもが集まっていて、楽しいイベントが盛りだくさんですよ！(塚本代表)

『フレンド』 毎週土曜日 10時～12時

活動場所：公民館

幼児から小学生までの幅広い年代で活動しています。通園、通学に伴って子育ての情報を得にくくなるので、ママたちの情報交換、交流の場になっています。活動は土曜日なので、パパが遊びに来ることも！(広瀬代表)

問合せ 子育て支援センター 「にこにこ」 ☎6501

みんなの伝言板

かみ子育てネットから

映画「うまれる ずっと、いっしょ。」 上映会のお知らせ

7つの育児サークルと個人会員で構成する「かみ子育てネット『くるくる』」では、家族のつながりをテーマにしたドキュメンタリー映画「うまれる ずっと、いっしょ。」の上映会を開催します。

「血のつながりのない家族」「愛する人に先立たれる家族」「死と向き合う毎日を生きる家族」。それぞれの事情に向き合う3つの家族の姿を通して、自分たちが生まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、幸せのあり方を考え、感じさせてくれる映画です。

2回の上映いずれも託児を用意していますので、お子さんと一緒に、またはお子さんを預けてゆったりと、お好みの形でご覧いただけます。

日時 7月25日(土) 2回上映

1回目 赤ちゃん同伴OK

9時30分開場、10時上映開始

2回目 赤ちゃん同伴不可

17時30分開場、18時上映開始

場所 保健福祉総合センターかみん

料金 無料(下記で整理券を配布)

託児 1人500円。2人目からは200円

※定員あり。3日前までに予約ください

整理券配布・問合せ 子どもセンター ☎6501



歯周疾患検診



6月4日～10日は

「歯と口の健康週間」です

町では、歯周疾患の予防・早期発見と歯科医院での定期健診推進のため、昨年度から歯周疾患検診を始めました。

対象者には5月に受診券を郵送しています。この機会にぜひ受診ください。また、最近町外から転入し、対象年齢に該当する方は右記へご連絡ください。

対象 平成28年4月1日現在で40・45・50・55・60歳の方

検診内容 歯と歯ぐきのチェック、歯の健康アドバイス

※検診では歯石除去などの治療は行いません

検診料 無料

受診方法 事前に歯科医院を予約し、受診券と健康保険証を持参のうえ受診してください

検診期間 6月1日～平成28年3月31日

実施場所 町内6カ所の歯科医院

問合せ 保健福祉課健康推進班 ☎6987



販売
します

プレミアムビール 「まるごとかみぶらの」



が広がる初夏。かみぶらの味が
ギョギョッと詰まった「まるご
とかみぶらの」を片手に、さあ
みんなでカンパニー！

販売開始 6月13日(土)

※飲食店での提供開始日は各店
舗により異なります

価格 バラ売り1本(330ml入り)
620円程度、ギフト用5本セッ
ト(化粧箱入り)3千300円程度

販売取扱店・提供飲食店
「まるごとかみぶらの」のポ
スターとのぼりが目印です

問合せ プレミアムビール「ま
るごとかみぶらの」四季彩実
行委員会事務局(金産業振興課)

☎6984

「まるごとかみぶらの」 ビアガーデンも開催するよ



日時 7月11日(土)

16時~19時30分

場所 銀座通り

チケット 1千200円

(生ビール3杯)

6月15日(月)発売

販売場所 役場産業振
興課、商工会、JA

ふらの上富良野支所

募集
します

上富良野町食生活改善推進員

きららの会メンバー

きららの会では、生活習慣病
予防のための食事学習会や野菜
を使った料理を考える調理実習
のほか、町の特定健診会場での
野菜料理の試食提供、野菜に関
するアンケートの実施や「男の
料理教室」のスタッフとして活
動するなど、皆さんの食生活改
善のお手伝いをしています。

塩分の取り過ぎにもつながるこ
とから「体にいい食べ方がわか
らない」という方も多いはず。
きららの会では、野菜をたく
さん食べられる体にやさしい料
理を考案してレシピも提供して
おり、一緒に学習したり、活動
いただける新メンバーを随時募
集しています。

野菜はビタミンAやビタミン
C、葉酸、食物繊維などを多く
含み、町の課題のがん予防にも
有効ですが、調理に手間がかか
り、食べ方によっては脂肪分や

自分や家族の健康について一
緒に考えてみませんか？ 下記
の日程で学習会を保健福祉総合
センターかみんで行います。
ぜひ、ご参加ください。

でき
ました

らべとんの

LINEスタンプ



「コミュニケーションアプリの
LINEに、ついにらべとんが
登場しました！「らべとんの
スタンプがほしい!!」というた
くさんのみなさまの声にお応え
し、上のようにメッセージ入り
デザインのほか、瞬間移動する
らべとん、歌うらべとん、激太
り、落胆のらべとんなど、かわ
い表情がごーんと40種類。

これを使えば、いつも増し
てトークが盛り上がり、その
愛らしい表情に身も心も癒され
ちゃつこまちガイなし!!

LINEのスタンプショップ
で120円で購入できます。ショッ
プの検索窓に「らべとん」と入
力してお探しいただくか、こち
らのURLを入力ください。

<http://line.me/S/sticker/1110651>

問合せ

かみぶらの十勝岳観光協会

☎3150



5月13日に行われた学習会の様子

子育て

児童手当現況届の提出は
お済みですか？

現在、児童手当の支給を受けている方は、6月中旬に「児童手当現況届」の提出が必要です。提出がないと6月分以降の児童手当が支給されません。早めにお済ませください。

また、公務員が退職して民間企業に就職、町外からの転入、子どもの出生があった場合などは、その都度手続きが必要となりますのでご注意ください。

問合せ 町民生活課総合窓口班

☎6985

福祉

社会を明るくする運動啓
発音楽パレード

社会を明るくする運動は犯罪や非行の防止と、罪を犯した人々についての理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうという運動です。7月の強調月間に合わせ、町内では啓発音楽パレードを開催します。

日時 7月1日(水)

13時40分 役場出発

14時30分 高田幼稚園到着

※雨天によりパレード中止の場合

合は、13時40分から上富良野小学校体育館で「音楽発表会」を開催します

問合せ 保健福祉課福祉対策班

☎6987

戦没者等のご遺族の皆様へ
第10回特別弔慰金

戦後70周年に当たり、戦没者等の尊い犠牲に思いをいたし、国として弔意を表するため、ご遺族に特別弔慰金(記名国債)が支給されます。

支給対象者 戦没者等の死亡当

時の遺族で、平成27年4月1日(基準日)において「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」などを受ける方(戦没者等の妻や父母)がいない場合に、次の先位順の遺族お一人に支給

1 平成27年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族援護法による弔慰金受給権を取得した方

2 戦没者の子

3 戦没者等の①父母、②孫、

③祖父母、④兄弟姉妹
※戦没者の死亡当時、生計関係を有していることなどの要件を満たしているかにより、順番が入れ替わります

4 上記1～3以外で、戦没者

の死亡時までに1年以上の生計関係を有していた戦没者等の三親等内の親族(おい、めいなど)

支給内容 額面25万円、5年償還の記名国債

請求期間 平成27年4月1日～

平成30年4月2日請求期間を過ぎると、受給できなくなりますのでご注意ください

請求・問合せ

保健福祉課福祉対策班

☎6987

保健

かみんプール利用休止

7月13日(月)～16日(木)は清掃・点検のため、プール・浴室の利用を休止します。

問合せ 保健福祉課福祉対策班

☎6987

かみんプール教室



7月1日～9月30日の教室日程は下段のとおりです。体力に合わせお選びください。

問合せ 保健福祉課健康推進班

☎6987

かみんプール教室スケジュール

【7月1日～9月30日】

	月	火	水	木	金	土	日
9時～10時	一般利用						一般利用
10時	パワー筋トレ (40分) ③・②	頑張るダイエット (40分) ②・② (陸上筋トレ30分)	チェンジボディ (40分) ①・①	頑張るダイエット (40分) ②・② (陸上筋トレ30分)	アクアビクス (45分) ②・③	頑張るダイエット (40分) ②・② (陸上筋トレ30分)	
11時～14時	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム)						
14時	ルンルンアクア (40分) ①・①	燃焼ウォーク (40分) ②・②	脚力のすすめ (40分) ②・②	チェンジボディ (40分) ①・①	スリムウォーク (40分) ②・②	一般利用	
15時～19時	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム) ※土・日曜日は15時～15時20分						
19時	燃焼ウォーク (40分) ②・②	パワー筋トレ (40分) ③・②	脚力のすすめ (40分) ②・②	スリムウォーク (40分) ②・②	よくばりアクア (50分) ②・③	チェンジボディ (40分) ①・①	一般利用
～20時30分	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム)						

* 表の○で囲んだ数字は左が『きつさ』、右が『難しさ』を表しています。数字が大きくなるに従ってきつく、難しくなります
* 「頑張るダイエット」は30分間の陸上での筋力トレーニング後、プールで有酸素運動を40分間行います
* 「流水タイム」の間はフローマシンが利用できます。時間内は1コース使用しますのでご了承ください(日曜日は15時のみ)
* 個別対応もしますので、プールスタッフに声をお掛けください

災害時に備え、作成します

避難行動要支援者名簿

町では、災害対策基本法改正に伴い、昨年12月に「上富良野町避難行動要支援者名簿に関する条例」を制定しました。

この条例は、避難行動要支援者（災害時に自力で避難することが困難なため、特に支援を必要とする方）の名簿を作成し、関係機関・団体に提供することによって災害時の円滑、迅速な避難に役立てようとするものです。ご理解、ご協力をお願いします。

対象者
高齢者については現在、民生児童委員に協力いただいている高齢者実態調査により、65歳未満の方は6月以降、町が個別に訪問して把握します

- ・75歳以上のみの高齢者世帯
- ・要介護認定
- ・身体障害1・2級
- ・精神障害1級、療育手帳A
- ・難病患者で重症認定

※右記以外で、自力避難が困難な方はお問合せください
名簿の記載内容
氏名、住所、生年月日、性別、電話番号、緊急時の連絡先、避難支援が必要な理由

名簿提供の説明

名簿登載者には、町から避難支援等関係者（警察や消防、民生児童委員、社会福祉協議会、自主防災組織など）に名簿を提供する趣旨を記載した文書を郵送します。また、必要に応じて担当者が訪問のうえ説明します

名簿の利用

災害時に備え、関係者に名簿を提供し、誰が支援してどのように避難するのかなどを定める「避難支援個別計画」作成の基礎データとします

名簿提供に非同意の場合

提供を拒否する場合は「非同意届出書」を提出いただきます。この場合、平常時に提供することはありませんが、災害時や災害発生のおそれがあり、特に必要と認められる場合には、必要な範囲において提供することがあります

名簿の管理

名簿は個人情報のため、提供を受ける側には守秘義務が課せられ、適切に管理することが求められます

問合せ

総務課
基地調整室
☎ 456980



平成26年度の運用実績

●行政サービスの制限措置

町では、特別の理由なく町税などを滞納した場合、受けている行政サービスの停止や取り消しをする「町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」を定めその運用状況を議会へ報告するとともに、一般に公表することとしています。

平成26年度の措置件数 0件
問合せ 町民生活課税務班 ☎ 456989

●情報公開・個人情報保護

町が保有する情報はいつでも誰でも公開を求め、自分自身に関する情報は開示のほか訂正や削除を求めることができます。

また、個人のプライバシーに関する情報は適正に保護されることとなっています。

●情報公開制度 請求2件

住居表示台帳 公開2件

●個人情報保護制度 請求2件

町立病院診療記録 公開2件

問合せ 総務課総務班 ☎ 456400



今年のお金

納付が困難なときは 免除・猶予の手続きを！

経済的に保険料の納付が困難な場合は未納のままにせず、次の手続きをしてください。

【国民年金保険料免除制度】

国民年金保険料を納める本人や配偶者、世帯主の前年所得がそれぞれ一定基準以下の方、失業して納付することができない方は、申請により保険料の全額か一部が免除となります。

なお、一部免除の場合、免除以外の保険料を納付しないと未納扱いとなり、将来の年金額に当該期間分が反映されません。

◆免除の区分

納付額	0円
年金額への反映割合	1/2
3/4免除	
納付額	月額3千900円
年金額への反映割合	5/8
半額免除	
納付額	月額7千800円
年金額への反映割合	3/4
1/4免除	
納付額	月額1万1千690円
年金額への反映割合	7/8

【若年者納付猶予制度】

30歳未満で、本人や配偶者の

前年所得がそれぞれ一定基準額以下の方は、申請により保険料の納付が10年間猶予されます。

当該期間は未納扱いにはなりません。

◆申請受け付け

平成27年度分（27年7月～28年6月分） 7月1日から

申込み・問合せ

町民生活課総合窓口班
☎ 456985
旭川年金事務所
☎ 0166-27-1611

旭川年金事務所では毎月1回「年金相談所」を開設し、厚生年金・国民年金の請求手続きなどの相談をお受けしています。1週間前までの事前予約が必要です。

日時 7月9日（木）
9時30分～16時

場所 富良野市役所
申込み・問合せ
旭川年金事務所お客様相談室
☎ 0166-72-5004



かとう あき
加藤 愛紀 ちゃん
(1歳7か月)

♡拓志さん・希美さんの子♡

動物が大好きで、外で
見かけた猫や鳥を追いか
けて遊んでいます♪

これからは、思いやり
のある優しい子に育って
ほしいです。(希美さん)



のせ なおき
能勢 直樹 くん
(3歳3か月)

♡俊和さん・奈津枝さんの子♡

車と歌が大好きで、甘
えん坊の直樹です。

お姉ちゃんたちと仲良
くして、素直で思いやり
のある子に育ってほしい
な♡ (奈津枝さん)

就学前までのお子さんを募集しています。
町民生活課自治推進班 ☎6985

役場のお仕事

「お役所仕事」じゃなくて、

今月は、保健福祉課のラストを飾る
福祉対策班のお仕事のご紹介です。
保健福祉総合センターかみふらの施設
管理をはじめ、民生委員・児童委員、
保護司や更生保護団体、人権擁護委員
など社会関係団体に関する事務のほ
か、生活困窮者の相談、障がいに関す
る申請、給付などを行っています。

「障がいや難病を抱えた方たちを適
切なサービスにつなぎ、社会参加を促
すことで、地域で自立した生活を送れ
るよう支えるのが私たちの仕事です」
近年、障がいの認定者数は増加傾向
にあるものの、福祉サービス事業所が
町内に3か所でき、就労訓練の環境も
向上したことで「家から出る勇気が出
た」と通所し始める方も出るなど、潜
在していた方が顕在化したケースもあ
り、社会参加への支援サービスの幅も

「保健福祉課福祉対策班」の巻



スタッフ5人が手話で
こ・ん・に・ち・は！

件数は延べ208件で、休日を除くとほぼ
1日1件のペースにもなるそうです。
「同居している親が全ての世話をし
続けて、他人や社会との接点を一切持
たずに何十年も家に引きこもっている
人もいます。でも、親が高齢で亡く
なった後、地域の民生委員さんから
『何だか様子がおかしい』との連絡を
受け訪問すると、それまで認定を受け
ていないのに、実は知的や精神の障が
いがあることがわかった、というケー
スが増えています。中には『これ
ほど重度の障がいがあるのに、家族だ

確実に広がっているといえます。
「特に問題が起きなければ、本人や
家族が障がいを認識していないことも
あります。ある程度の年齢になってし
まうと現実を受け入れるのが難しいか
もしれませんが、『なぜか周囲とうま
くいかない…』など、漠然とでも『何
だか生活しづらいな』と感ずることが
あれば、まずは相談に来てほしい。う
ちは、町全体のよろず相談所のような
ものですから(笑)」
人と向き合い、全力サポート！そ
れが福祉対策班のお仕事なのです。

西5線北27号 フラワーランドかみふらの 300本の桜の森



桜と一緒に十勝岳連峰も望めます

ちよこっと自慢

ねえねえ
見て見て！

「小高い丘になっているので周
りの景色もいいし、桜と一緒に眺
められるので、町民の皆さんにも
ぜひ見に来ていただきたいです」
今年はおち散ってしまいました
が、例年
は5月上
旬から見
ごろを迎
えます。
来年はお
見逃しな
く！



園の歴史とともに育った桜

今月のテーマは...

アウトドアシーズン到来!

富良野市「アウトドアイベント」

◆富良野岳登山会

富良野岳の山開き登山会を開催します。

日時 6月21日(日)

申込み 6月17日(水)まで

◆樹海の里フットパス

東山地区でフットパスを楽しめます。先着50人。

日時 6月27日(土)

問合せ ふらの観光協会

☎ 3388

中富良野町「北星山観光リフト 6月20日(土)営業開始」

北星山町営ラベンダー園の観光リフトが夏の営業を開始します。ラベンダーシーズンの週末はナイター営業も行います。

運行期間と日時は、町のホームページをご覧ください。

往復料金

大人 300円、子ども 200円

問合せ 産業建設課商工観光労働係

☎ 2123

南富良野町「ラフティングに挑戦しませんか？」

源流域のシーソラブチ川では激流ラフティング。空知川ではゆっくり、のんびりラフティング。きれいで透明度の高い川を下りながら、大自然を満喫しませんか？

初めての方やご家族でも安心して楽しめるツアーをご用意してお待ちしています。

問合せ NPO法人南富良野まちづくり観光協会

☎ 7000

占冠村「雲海テラスを体感してみませんか？」

早朝、視界いっぱいに広がる幻想的な雲海を眺めながら、優雅なカフェタイムはいかがですか。

テラスにはカフェのほか、無料で雲海での思い出を送る「ポストカード」(Gondola乗車券)やヨガなども楽しめます。慌ただしい時間を忘れ、ゆったりとした朝時間をお過ごしください。

問合せ 星野リゾートトマム

☎ 1111

問合せ 保健福祉課福祉対策班 ☎ 6987

町内3つの障がい福祉サービス事業所の出来事を、月替わりでお伝えします!



イチゴのハウスでの作業



笑顔があふれた「よさこい」

「飛び出しました!!」との声まで加したい!!」と、事業所では年間を通じてさまざまなイベントを企画しており、町民の皆さんにも、気軽に足を運んでいただきたいと考えていますので、ぜひ気軽にお立ち寄りください。

の雑貨や自家焙煎コーヒーなどオリジナル製品の制作、販売も行っています。中でもキャンドルとコーヒーにつ

いては新製品の開発と品質向上に力を入れており、皆さんに喜んでいただけるような商品開発に日々、試行錯誤を繰り返しています。なお、製品は事業所のほか、中茶屋さんでも購入可能なのでチェックしてみてください。

5月9日はお花見会。気温が低くあいにく天候でしたが、事業所前にテントを張って行いました。家族の方々の参加もあり、普段とは違う雰囲気の中、外でのジンギスカンや大抽選会などを楽しんだほか、余興では「よさこい」を披露しました。短い練習回数でしたが、一致団結した勇ましい演舞を見ることができ、踊った全員は充実の笑顔。「来年は札幌のよさこいに参加したい!!」との声まで

本日は... 晴れ時々くもい 一時雨 北の峯学園上富良野事業所だより

～皆さん、遊びに来てくださーい!～ 昨年10月に何もわからず手探りの状態で開始したイチゴの温室栽培。ハウスの中は蒸し暑く厳しい環境ですが、利用者さんは集中を切らすことなく剪定(せんてい)や葉の整理、収穫などを行ってきまし

た。現在ではみんなの熱意と関係機関の協力により順調に出荷できるようになり、「甘くて美味しい!」と好評をいただくとまでになりました。事業所ではキャンドルなど



「防火」の季節になりました!



暖かい日も多くなり、屋外で炭火を使ってバーベキューなどを楽しむ時期になりましたが、炭火をおこすなど、火を使った作業は子どもの好奇心をくすぐるもの。そこで今月は、炭火を使用する際の注意点とお子さんの火遊び防止のポイントをお伝えします。

●春の火災予防運動を実施しました (実施期間 4月20～30日) 4月20日 上富良野・中富良野消防署 合同火災防御訓練 4月22日 女性防火クラブによる独居老人家庭防火訪問 4月25日 少年消防クラブ入隊式 このほか、町内の事業所に対し避難訓練や防火立入検査を実施しました。

●今後の主な事業

7月上旬 幼年消防クラブ、女性防火クラブ合同 同防火パレード 9月1日 上富良野・中富良野消防 総合演習



元気な子どもたちが入隊!

問合せ 上富良野消防署指導係 ☎ 2119

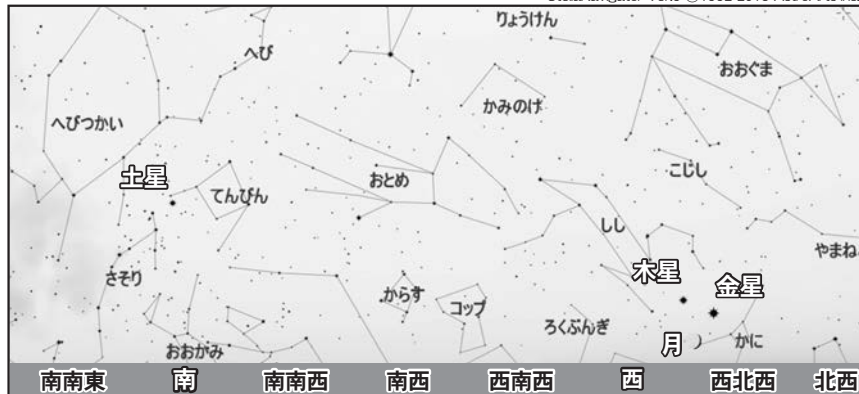


夜空を見上げれば...

問合せ
教育振興課社会教育班 ☎5511

☆6月の上富良野の星空は...

StellaNavigator Ver.9 ©1992-2013 AstroArts Inc.



上は6月20日(土)21時の上富良野の星空です。22日(月)には昼間の時間が1年で一番長くなる夏至(げし)を迎えるため、この時期にきれいな星空が眺められる時間は、午後9時半ごろから午前1時半ごろまでと大変短くなっていますが、この時期に楽しめるものの一つに人工衛星があります。

夜空を眺めていると、星々の間をゆっくりと移動していく星(?)に気付くことがあります。点滅していれば飛行機ですが、それ以外は人工衛星です。地球の周囲には既に機能を停止しているものも含め、多くの人工衛星が回っています。人工衛星は自ら光を出すのではなく、太陽の光を反射する時に見えるので、日没後の夕方か日の出前の明け方が見やすい時間となります。地上には太陽の光が届かなくても、人工衛星が飛ぶ数百km上空には届いているため、日没が遅く、日の出が早いこの時期は夜中でも見ることができます。国際宇宙ステーション(ISS)の見え方はインターネットで配信されていますので「きぼうを見よう」で検索してみてください。



太陽面と移動するISSの画像。意外と大きく見える

さて、西の空には金星(宵の明星)と木星が「かに座」付近に輝いています。金星はとても明るいので、日没前にも見ることができます。日没前に確認できれば、太陽との位置関係を覚えておくと、昼間の早い時間帯でも太陽の位置を参考に、青空の中に金星を見付けられるでしょう。

また、南の空には「さそり座」と土星が見えています。このさそり座は、腕のいい狩人(かりゅうど)オリオンが自慢話に花を咲かせていることに怒りを感じた大地の女神ガイアに、オリオンを殺すよう命じられたさそりの姿です。そのため、さそり座が南東の空に顔を出すころには、オリオン座は逃げるように西の空に沈んでいるのです。

たくさんのご寄付
ありがとうございました

町へ

◎与田利花さん(兵庫県明石市)	2万円
◎桑田俊和さん	10万円
◎三浦公三さん	5万円
◎笠原利子さん	10万円
◎幅崎保夫さん	7万円

社会福祉協議会へ

◎正瑞みゆきさん	3万円
◎田中勤さん	3万円
◎三浦公三さん	5万円
◎大高正子さん	5万円
◎笠原利子さん	5万円
◎重清勇さん	5万円
◎和田カズコさん(札幌市)	3万円

6月の天体観望会

「あの明るい星は何か...」。夜空を見上げて、ふと考えることはありませんか? 星や宇宙のことを知ると、星空を見上げる楽しみがぐぐぐ〜と広がります。

毎月「夜空を見上げれば...」を執筆いただいているNPO法人東亜天文学会会員の犬上達也さんを講師に月や木星、土星、金星を天文台の望遠鏡を使って観察するほか、屋上で解説を聞きながら春の星座などを眺めます。

中止の場合は16時以降に連絡します。

日時 6月23日(火) 19:00~20:30

場所 上富良野小学校チャレンジ天文台

定員 25人(中学生以下は保護者同伴)

参加料 無料

申込期限 6月19日(金)

申込み・問合せ

教育振興課社会教育班 ☎5511

発行日 平成27年6月10日

発行 上富良野町

編集 町民生活課自治推進班

印刷 (株)須田製版

ご意見・ご感想をお寄せください。

☎071-0596

北海道空知郡上富良野町

大町2丁目2番11号

☎0167(45)6985 FAX0167(45)5362

メール: jichi@town.kamifurano.lg.jp

●人のうごき●

平成27年5月31日現在

()は前月比

住民登録

人口 11,172人 (+ 4)

男 5,620人 (+ 4)

女 5,552人 (± 0)

世帯 5,243世帯 (+ 8)

外国人住民 ※住民登録の内数

人口 32人 (+ 4)

男 9人 (± 0)

女 23人 (+ 4)

世帯 23世帯 (+ 4)



5/21 育児教室「にこにこ・赤ちゃん」。新米ママが楽しいふれあい遊びなどを体験しました!

